

子どもの居場所を探しています

発達障がいや事情により児童センターや自宅で過ごせない子や課題のある子の勉強や放課後過ごせる居場所を探しています。



学習やプレイルームとして
利用できる場所を貸してください。
(賃貸料金についてはご相談)

青木小・中学校から徒歩10分以内が希望です
(車で5分程度)

- ・学習室・プレイルームなどとして利用できる
8畳以上の部屋が2つ以上ある場所
- ・トイレが利用可能
- ・2台以上車が駐車できるもしくは近くに
駐車スペースがある
- ・元お店などでも可能です

開所して2年が経過し、利用されるお子さんが増え年齢や成長に合わせ、より充実したサービスを提供するために、青木村に2ヶ所目の居場所を探しています。学校周辺で、学習や室内で過ごせる居心地のいい場所を作りたいと思っています。ぜひ、私達の活動にご協力してください。

一緒に居場所で下校後の子どもたちと一緒に過ごしてくれるパートスタッフやボランティアも募集しています。詳しくはホームページかたとキッズあおきまで電話で確認してください。

たとキッズあおき (NPO法人たと。)

TEL 0268-75-6789

青木村田沢3075-1

■開所時間 9:00-17:00
■定休日 土日祝日

NPO法人たと





2019.8.1 開所式の様子

はじめまして。たんときッズあおきです。

2019年8月に田沢の豊受神社近くにある元教員住宅を改修して開所し2年が経過しました。開所の際は、村長を初めみなさんにテープカットをしていただき順調なスタートを切ることができました。たんときッズあおきでは、未就学の発達が少し遅れているお子さんの成長の促しを目的とした療育トレーニング、保育園に訪問させていただき友だちと仲良く遊べるように集団活動内で起きるトラブルの解決などを行っています。小学校に上がる前にトレーニングを受ける事で、学校で勉強する不安を解消しトレーニングから卒業された方も出てきました。

学生のお子さんには、放課後自宅や児童センターで過ごす事が難しいお子さんの居場所を提供しています。初めての通信になりますので、たんと未就学児にはどんなサービスを提供しているのか？ということを紹介していきたいと思います。また、2ヶ月から3ヶ月に1度になりますが、私達の活動を知っていただけるようにこのような会報を発行していきたいと思いますので、気になることなどあればぜひご連絡ください。

【未就学児へのサービス】

現在2歳のお子さんから6歳（年長）までのお子さんが療育トレーニングを利用されています。利用されるお子さんの中には落ち着きがない、言葉が出てこない、同じことをずっと続けている…などの行動が現れご家庭でも育て方に悩まれているお子さんです。小さい頃は誰だって落ち着きがないし、自分のことをちゃんと伝えられないから、他の子よりちょっと成長が遅いだけだから。そんなお子さんも沢山いらっしゃいます。母子手帳に記載されている成長曲線より下だからと言って必ず療育が必要になる訳ではありません。

その中でも行動に特徴がある子の中で、自ら解決することが難しいお子さんや苦手さが強く出てしまい成長を妨げている可能性のあるお子さんに対して自ら成長するキッカケと一緒に見つけ療育トレーニングをすることで本来の能力を獲得し小学校で楽しく友だちと勉強ができるように背中を後押しする支援の一つです。

昨年度は、5人のお子さんが療育トレーニングを卒業され、小学校でみんなと楽しく生活しています。

【次回は、就学児のサービスをご紹介します】



コラム ～発達障がいとは その1～

発達障がいは「自閉スペクトラム症」「注意欠如・多動性障がい（ADHD）」「学習障がい（LD）」「チック症」

「吃音症」などが上げられます。その中でも多くを占めるのが「自閉スペクトラム症」です。

自閉スペクトラム症の特徴は「集団との関係作りが難しい」「状況の理解が難しい」「人とのコミュニケーションが難しい」「特定のものに強い興味がある」「ものや予定などの変化に対応するのが難しい」など。

また、感覚「音」「味」「肌」「ものの見え方」に敏感さや鈍感さがある方が多くいます。

「人と一緒にいるのが苦手」「電車の駅名をすべて言える」「人混みのザワザワが苦手」などの感覚が人より強く出ている人や人より飛び抜けて何かが得意な人の一部にもいます。（全員ではありません）

それを言い出したら「え？あの人この人も。もっと言えば自分も？」なんて思いがちです。

発達障がいと診断されている方は、もともと人間が持っている特徴がより過敏（強く）、またはより鈍感（弱く）になっています。

部屋の中で大きな音や音楽がずっと鳴っている所に居ることは苦痛ですよね？それと同じような事が音に過敏な方は普通の部屋のTVや声だけでも同じような感覚になることがあります。

部屋の明かりも眩しいという方もいて、明るい場所を嫌い薄暗い場所で過ごす方も居ます。

これも、私達の多くが感じる感覚以上に強い刺激を感じている方に起こる行動のひとつです。

みなさんの周りにも、気になる行動をされている方が居るようでしたら、まずは理解することは始めてみませんか？